

1. 現状

- ・ウイズコロナ、アフターコロナ等の社会構造の変化に対応するため、企業ではデジタル化対応機器の導入が進んでいる。
- ・企業からはデジタル化対応機器を活用できる人材の育成を望む声が多い。
- ・高知高等技術学校の一部の訓練機器は老朽化しており、企業の生産現場に対応できる訓練機器の整備が必要。

2. 対応

企業ニーズに対応できるデジタル化対応機器を整備するとともに、デジタル化対応機器を活用した訓練を実施。

3. 整備する訓練機器

■ テーブルスポット溶接機（塑性加工科） 16,974千円

冷却装置により、薄い金属板をひずみが少なく加工できる。デジタル技術により、溶接条件の自動設定やデータベース化が可能。

材料を溶接機のテーブルで加工することができ、省力化が可能。



■ 調色用カメラ（塑性加工科） 1,600千円

自動車補修の調色作業（配合割合の選択）をデータベース化することができ、経年変化をした自動車塗料の調色が可能。



■ マシニングセンタ（機械加工科） 17,408千円

プログラミングにより、多種のドリルやフルバック（平面を加工する工具）等が自動で交換でき、高精度な穴あけ、ネジ加工、平面加工を行うことが可能。



■ デジタル溶接機（溶接科） 5,610千円

加工材料の材質や厚さ等の様々な条件に対して最適な溶接条件（電流、電圧の大きさ）を設定し、安定した加工が可能。



■ ラインスコープ（配管科） 他 4 機種 1,781千円

配管内にカメラ付きケーブルを挿入し、モニターに表示される映像をもとに配管内の異物・錆・損傷などの発見が可能。



4. 効果

- ウイズコロナ、アフターコロナ等の社会構造の変化に対応するため、企業で導入が進むデジタル化対応機器を整備することで、即戦力となる人材の確保・育成を図る。

高知高等技術学校でデジタル化対応機器を活用した訓練が可能となることから、同校の魅力を向上させ訓練生の確保を図るとともに企業ニーズに対応した訓練生を育成する。

デジタル化対応機器を活用した在職者訓練により、従業員の技術力向上等を図り、企業の生産性向上にも寄与する。